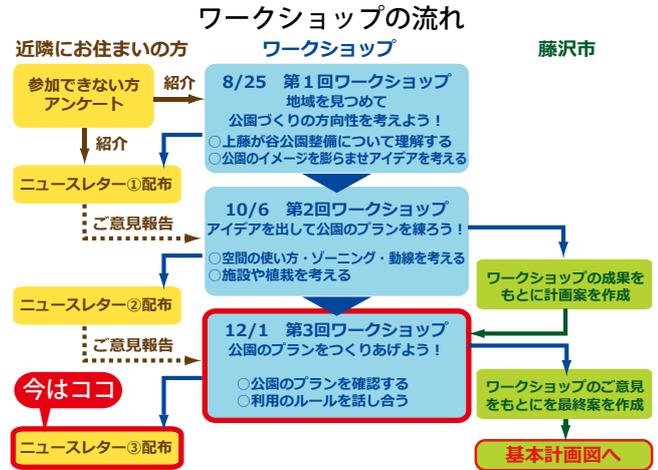


このニュースレターでは上藤が谷公園ワークショップで検討した成果をご紹介します

第3回ワークショップを開催しました

上藤が谷公園は、現在は芝草広場として暫定的に利用していただいております。公園整備は2020年度に行い、2021年度にオープンする予定です。

この公園が地域の方々に親しまれるように、「ワークショップ」を開催してきました。12/1に15名の方にお集まり頂き、第3回ワークショップ（最終回）を行いました。今回は「公園のプランをつくりあげよう！」をテーマに、第2回ワークショップでまとめた「いとこどり案」をもとに藤沢市で作成した2つの計画案を説明し、みんなで検討を行いました。



◎ 計画案と意見交換の主な内容をお伝えします

下のA案・B案をたたき台として、第2回で引続き検討することになっていた北側広場のつくりや遊具の取り扱いも含め、下記の①～③のテーマについてみんなで見解を出し合いました。

A案 休憩エリアを横向き（東西方向）に配置



北側と南側の広場を休憩ゾーンで仕切ること、北側広場で活発に遊んでも、南側広場では安心して過ごせるプラン

B案 休憩エリアを縦向き（南北方向）に配置



北側と南側の広場が既存樹を挟んで緩やかに繋がり、休憩エリアから両方の広場を見渡せるプラン

① 休憩エリアの配置と南側広場のつくり

休憩エリアの配置についての意見

- ・A案は、施設の配置が敷地に平行になっていて、安定しているように感じる。
- ・B案は、植栽やパーゴラがななめに配置されていて、両方の広場を見られてよい。

遊具・施設についての意見

- ・遊具がなくても、工夫して遊ぶのでは。
- ・はじめから遊具を置かずに、後から追加すればよいのでは？作り込みすぎないで、使いながら考えるのがよい。
- ・子どものいる若い世代のために、幼児が遊べる遊具があったほうがよい。
- ・小さい子も大きい子も幅広い年齢の子どもが使える遊具がよいのでは。
- ・遊具を置くことで、ボール遊びを減らすことができる。
- ・大人はベンチがあればよく、健康遊具はいらない。

② 北側広場のつくり

「樹木で広場を仕切る」ほうがよい方の意見

- ・現時点でも、サッカー・キャッチボール等のボールが車や自転車等に当たって被害が出ている。
- ・ひとつのグループの人数が多いと、危険度が上がる。危険な遊びができないつくりするのがよい。
- ・全ての人が安全に利用できることが大事。

「樹木で広場を仕切らない」ほうがよい方の意見

- ・子どもが広々と遊べるスペースを確保したい。
- ・お祭りや災害時に使える広い空間を確保したい。
- ・利用のルールを作って、守っていない子どもには大人が注意し、子どもに考えさせることが大切。
- ・硬いボールやバットを禁止と書いておけば、子どもはちゃんとルールを守る。
- ・まずは仕切らずルールを決めて運用して、適切な利用が維持できない場合は、後から仕切る方法もあるのでは。

具体的なルールについては、整備までの間に引続き地域のみなさんと話し合っていきたいと思います

ルールについての意見

- ・看板などで公園の使い方のルールを徹底してほしい。
- ・具体的なローカルルールがあると注意しやすい。

その他の意見

- ・広場の周囲を高いフェンスで囲うのは風致地区でもあり景観的に好ましくないため樹木で遊ってほしい。
- ・出入口は、ボールが出ない、子どもが飛び出さない工夫してほしい。

③ 植栽計画

- ・既存樹木は、生育状態などを見て適切な樹木を選んで残してほしい。
- ・シンボリックな木が何本か欲しい。
- ・年間を通して花や紅葉が楽しめるようにしたい。
- ・サルスベリ・キンモクセイは近所にあるので、他の樹種がよい。
- ・芝生は新たに張り直してほしい。

◆◆ 上藤が谷公園の最終案ができあがりました! ◆◆

ワークショップでいただいたご意見を集約し、最終案としてとりまとめました。

北側広場で活動的な利用をしている時でも、休憩ゾーンの植栽帯を挟むことで、

南側広場は安心して利用することができる、休憩ゾーンを横向きに配置する案（A案）を最終案のベースとしました。

最終案平面図



北側広場

- ・お祭り等のイベントや災害時に利用しやすいよう、空間を広くとります。
- ・近隣の方々に迷惑となるような危険な遊び方をしないよう、利用のルールをつくり、わかりやすく掲示・周知します。
- ・外周にはフェンスを設け、ボールの飛び出しを防ぎます。フェンスの周囲は低木や中高木を植栽し、フェンスで囲われている印象を和らげます。

植栽

- ・北側・西側は道路沿いに高木を植栽し、通りの良好な景観をつくります。
- ・花壇は現在の北側・東側に加えて、西側のコーナー部にも追加します。
- ・南北の入口や広場から目につく場所にシンボル樹を植栽します。
- ・隣家との境界沿いは、隣家との緩衝帯となり、広場の景観性を高める植栽を設けます。

休憩エリア

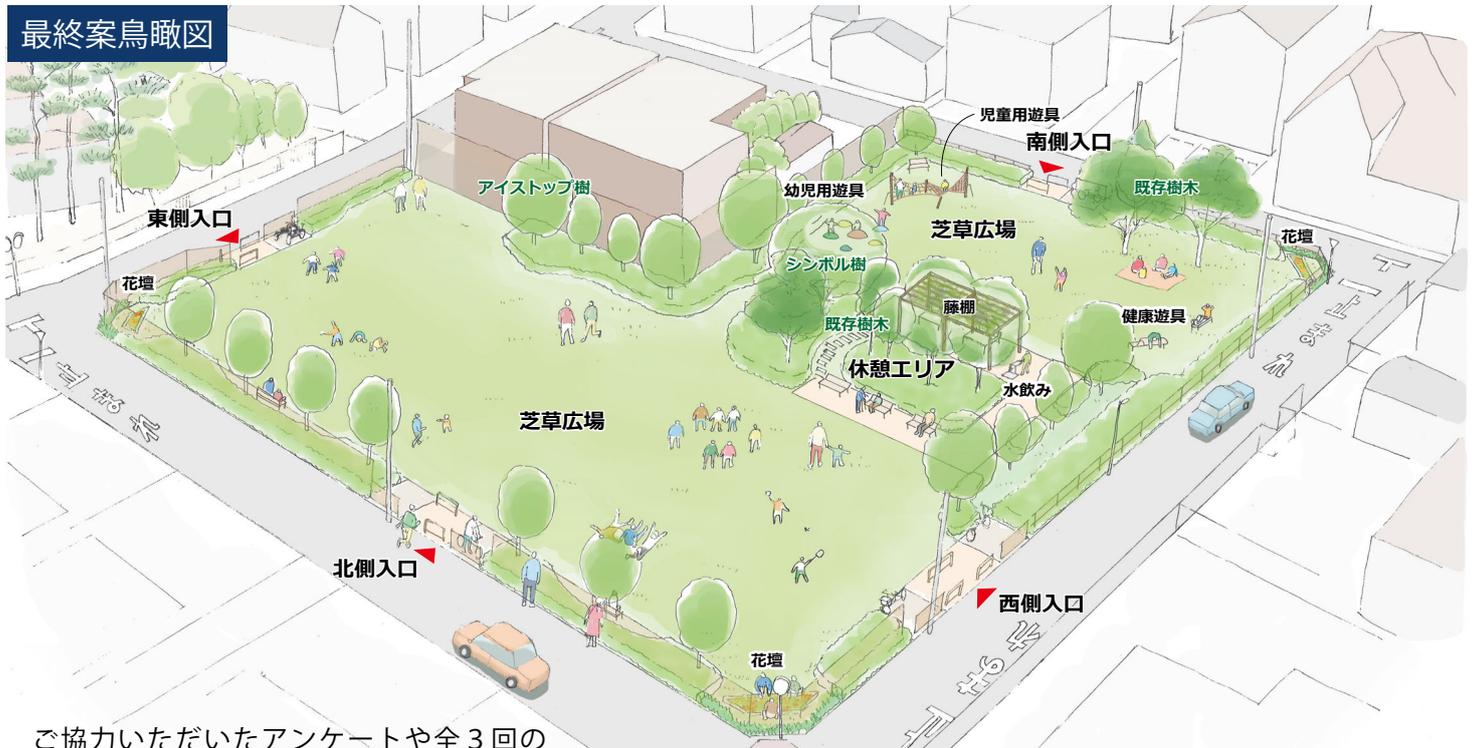
- ・既存樹木を活かした植栽帯で南北2つの広場を仕切ります。
- ・南北それぞれの広場を利用する人が休憩できるベンチ等を設けます。
- ・南側はパーゴラに植物（藤など）を這わせて、日陰をつくります。

南側広場

- ・まちかどのみどりとなる既存樹を残します。
- ・中央に広場、広場を囲うように休憩施設や遊具等を配置します。
- ・幼児から児童まで幅広い年齢の子どもが遊べる遊具を設置します。
- ・ベンチとして利用しながら、健康づくりもできる健康遊具を設置します。

※最終案は可能な限り工事に反映していく予定です。
ただし全てを反映できない可能性もあります。

最終案鳥瞰図



ご協力いただいたアンケートや全3回のワークショップを通して練り上げた骨格やアイデアを詰め込んだ上藤が谷公園の最終案ができあがりました。今後は最終案をもとに実施設計を行っていきます。

公園開設までのスケジュールは、右の表のようになっております。

上藤が谷公園整備スケジュール（予定）

※スケジュールはあくまで予定であり、変更となる可能性があります

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ワークショップ	■			
設計		■		
公園整備			■	
公園開設				■

芝生の養生期間

オープン

昨年8月から3回開催してきたワークショップは終了となりました。

ワークショップにご参加いただいた皆さん、公園に関するアンケートにお答えいただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。